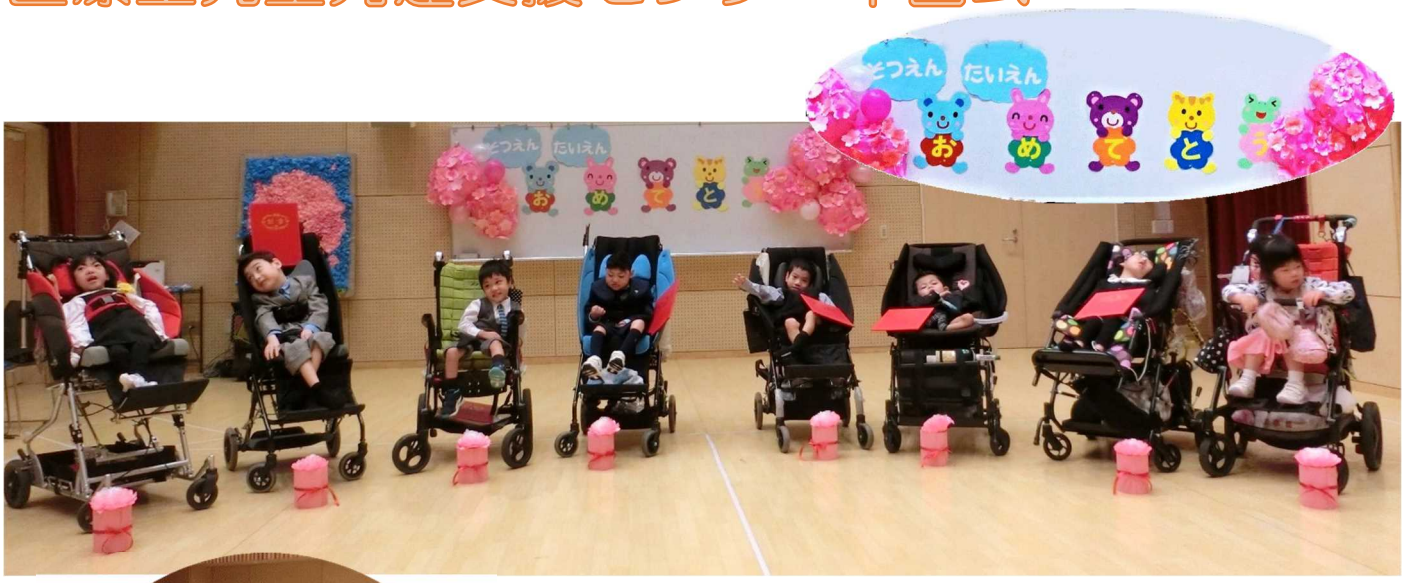
愛知県三河青い鳥医療療育センター広報

にじいろ

第8号

２０２１年5月発行

医療型児童発達支援センター卒園式



令和３年３月 26 日、卒園式が行われました。

卒園・退園したお友だちは、４月から学校や新しい療育の場に通われます。

みんな元気でがんばってください。

～目次～

・巻頭言	２P
・東京オリンピック聖火リレー	３P
・病棟便り	４P
・新規採用職員研修	５P
・「やらされる」から「やりたい」へ	６P
・正しい生活習慣を身につけよう	７P
・外来受診ついて	８P

開設後５年を経て

顧問　吉橋裕治

当センターが開設されて５年がたちました。

４つの入院病棟のうち２病棟の稼働からはじめ、翌年秋に 2B 重症者病棟を、そして今年１月には 1B 重症児病棟を開棟して、今年度からフルオープンという形をとることが出来ました。この間、特に大きな問題を生ずることもなく、計画に沿った施設の運営を進めることが出来たのは、愛知県や岡崎市、岡崎特別支援学校、愛知県済生会のご支援、ご指導とともに、利用者の皆様方のご協力のおかげと深く感謝しております。

愛知県立心身障害児療育センター第二青い鳥学園の時代に 25 年に及ぶ議論を経ながら、最終段階で大きな変更が加えられ、さらには入札や工期の問題により二度にわたって遅れるといった不本意な船出でした。それでも 52 年間使用し、言葉で表わせないほど老朽化した旧施設から、新築された環境に変わったことで数多くの問題が解消しました。また、CT や骨密度測定機器等の医療機器の整備や更新、三次元動作解析室の設置、電子カルテの導入による医療業務のデジタル化などのハード面の拡充に加え、外来診療科の増設、整形外科の予約診療体制の導入、専任職員を含めた臨床検査部門の新設、リハビリテーション科職員の増員などのソフト面の充実も図られ、医療機能については十分とは言えないまでも、ある程度の改善が得られました。

一方、予想された問題点も現実のものとなっています。当初の計画に比べて延べ床面積が 15%削減されたことによる様々な不都合、立地の問題として交通アクセス上の不便や福祉施設として不可欠な地域との交流が持てないこと、駐車場の広さが十分でないこと、医療職員の確保が十分進んでおらず、実際には完全稼働出来ていないこと、地域療育支援事業の縮小による三河地区における啓発機能等の低下、さらには、施設が大きくなり職員が増えた分、いわゆる小回りが利かなくなって利用者の方々にとってかえって不便になった点があることなど、気になることは決して少なくありません。今後、創意工夫を重ねてこれらの問題点を改善してゆく必要があると考えます。

ただ、「心身障害児療育センター第二青い鳥学園」から「三河青い鳥医療療育センター」への移行は、比較的スムーズに進んだと思われます。オープンまもない６月、当地にて全国肢体不自由児施設施設長・事務長会議を開催し、参加者に新施設を披露出来、その３年後には天皇皇后両陛下の行幸啓におけるご視察を賜ったりしたことで、全国にも名を知らしめることが出来ました。今後は、全国に先駆けてはじめた外来療育（通園）、上田法、一期的多部位手術などで名を馳せた「第二青い鳥学園」に習い、時代を先取りした質の高い療育を提供出来る施設を、そして利用される方たちにとって心安らぐ施設をめざして行ってほしいと思っています。

聖火リレーに三河青い鳥医療療育センターからリモートで参加

令和３年４月５日、６日に愛知県内で東京オリンピック聖火リレーがあり、三河青い鳥医療療育センター入所経験があり現在も外来リハビリに通っている鈴木俊介くんが、６日の聖火リレーの１区間を走りました。

実際に俊介くんがいたのは三河青い鳥の講堂で、聖火リレー会場では、テレプレゼンスロボット（三河青い鳥にいる俊介くんの姿がディスプレイされ、俊介くんが三河青い鳥から操作）が走って聖火をつなぎました。

三河青い鳥では、密にならないように注意しながら、みんなで俊介くんの聖火リレーを応援しました。

俊介くんだけでなくみんなにとって、とてもすばらしい体験ができました。

講堂内の様子。中央が俊介くん。ロボットからの映像がスクリーンに映し出され、車輪の動きを伝える装置と手元のスイッチで操作しました。

病棟便り

２ Ａ 病 棟

2A 病棟では３月上旬に職員と利用者でお花紙を使って桜の花を制作しました。中々外に出られない状況の中、病棟内に桜を咲かせて居室から出た時に季節を感じられるようにしました。

３ 月下旬にはお天気も良く感染対策をして本物の桜を見に近くの公園へ花見に行くことができました。

２ Ｂ 病 棟

12 月に療育活動として栽培していた野菜を収穫しました。この野菜は１０月に利用者と共に種をまき、毎日担当を決めて水やりをしたものです。野菜スタンプを作り、ご家族への年賀状に使用しました。

お正月には、スタッフが巫女に扮し、初詣を行いました。コロナ収束を願ってみんなでお参りしました。恒例行事として皆さんに楽しんで頂いています。

一斉に集まることはできなくなりましたが、参加人数や方法に気を付けて行事を楽しんでいます。

１ Ａ 病 棟

初詣は新型コロナの感染予防の為に行けませんでしたが、正月恒例の書初め・福笑い・絵馬で笑い、楽しむ事が出来ました。また、２月には節分で豆まきを行いました。季節の変わり目に起こりがちな病気や災害を鬼に見立て追い払う事ができたのではないかと思います。「笑う門には福来る」のことわざのように笑顔が絶えず自然と幸福がやってくる一年にしたいです。

１ Ｂ 病 棟

1B 病棟は１月に開所した病棟で、現在６名のお子様が生活しています。
デイルームにはプレイマットが敷かれており発達に合わせた保育活動や、自由遊びをして過ごしています。

３月末にはコスモスの種と、ブロッコリーとレタスの苗をみんなで植えました。
暖かい日には外へ出て、ジョーロで水やりをしたり散歩をしたりして季節を感じています。

通　園

４月１日に行われた入園式には、６名のお友達が出席しました。
新しいお友達が加わり、今年もみんなで楽しい通園にしていきたいと思います。

保育では、近くの公園でやっている写真展を見に行きました。
屋外に、ねこやヒョウ、ライオンなどねこ科の動物の写真がたくさんあって、子どもも大人も楽しいひと時を過ごしました。
大きなパネルの前での記念撮影。「映える」写真が撮れたかな？

新規採用職員研修

新年度を迎え、当センターにも新しい職員が加わりました。
入職した職員は、４月１日から３日間、センター概要の説明やセンター職員としての心構え、医療・福祉従事者としての基本的な知識・技術、災害時訓練など、新規採用職員研修を受けました。
利用者の皆さま、今後ご鞭撻のほどよろしくお願いいたします。

（歯科衛生実習）

（AED 講習）

（災害時訓練）

「やらされる」から「やりたい」へ

～お子さんの支援において、作業療法士が大切に考えていること～

作業療法士　坂井田正一郎

これをお読みになっている方の大半が、箸を使って食事をされるのではないかと思います。臨床において、親御さんや支援者からよく聞かれる困りごとの一つに、「箸を使って欲しいが、上手くいかない」というものがあります。操作という観点からも、スプーンやフォークの方がはるかに簡単です。でもなぜ私たちは、何の疑問や違和感もなく、こんなにも使いにくい道具を使うようになったのでしょうか。

日本人だから、食べ物や手が汚れないから、食べ物を取り分けやすく綺麗に食べられるからなどの答えが多いかと思います。日本人としての帰属意識や同調性からくる安心、清潔に食べられることでの安全、綺麗に食べられることでの満足など、箸を使うことでメリットを感じるため、そうするのでしょう。メリットがデメリットを超えた時、人間は自分で行動を変化させていくのではないでしょうか。

お子さんの支援において、作業療法士が大切に考えていることの一つに、お子さん自身が「やりたい」と思っているかということがあります。作業療法の教科書には、「inner drive」という言葉が出てきます。日本語では「内的欲求」と訳されます。治療を実施する上で、楽しくてちょうど良い難易度の課題を通し、お子さんに「やりたい」と思ってもらうことの重要性が書かれています。また、人間は能動的な経験の方が積み重なるとも言われています。

筆者もこんなことを経験したことがあります。「自転車の練習をしているが乗れない」と、お母様からご相談を受けたお子さんがいました。実際に自転車に乗ってもらい、身体の使い方のポイントをお伝えしたのですが、すぐには上達しませんでした。それどころか、そもそも本人は自転車に乗りたいとは思っておらず、さらには自転車を嫌いになっていきました。そこでお母様に、自転車の練習を無理強いしないでいただくようお願いをしました。

それから約半年後、お母様から乗れるようになったと伺いました。その頃、お友達と自転車に乗って遊びにいく機会が増え、「乗りたい」という気持ちが芽生えたそうです。そこで練習を再開し、ポイントを伝えたところ、すぐに乗れるようになったとのことでした。

治療も箸も自転車も、本人に「やりたい」という気持ちがあると、意欲を持って取り組むことができますし、できるようになるまでの時間も変わってくると思います。「やらされる」だけではできるようにはなりません。どうしたら「やりたい」と思ってもらえるのか、それを見つけることこそが、できるようになるための近道なのではないでしょうか。

多くの場面で、大人の「やらせたい」と、お子さんの「やりたい」が異なり、ぶつかることがあります。とかく、「○歳だから・・・、○年生だから・・・」と区切りをつけ、大人がどのお子さんも同じであること、何でも平均的にできることを良いとし、大人の想い描くお子さん像を求める世の中でもあるように思います。

お子さんの気持ちを無視し、「やらせたい」だけになってはいけませんし、何でもかんでもお子さんの「やりたい」を尊重し、何をしても良いということではありません。親御さんや支援者として、こうなって欲しいと思うことは当たり前とは思いますが、お子さんがどう感じているのか、一度考えてみても良いかもしれません。

「正しい生活習慣を身に付けよう」

障害児等療育支援事業担当　安達　友隆

新年度を迎え、今までとは違う新しい生活が始まった方が多くいると思います。この時期は今までとは違うリズムでの生活が始まるため、不規則な生活になりがちです。特にお子さんの場合は、不規則な生活リズムは、体調を崩したり、気持ちが落ち込んでしまう原因になることが多いようです。元気で、楽しく、毎日を生活するためには、特別なことではなく、「早寝」「早起き」「朝ごはん」が何よりも大切です。

人間の体の健康は「太陽のリズムで生活すること」だと言われています。それは、太陽と共に目覚め、太陽が沈んだら、しっかりと休んで休養するといったことの繰り返しです。そうすることで、自然に朝から空腹を感じ食事をしっかりと摂ることができ、そのエネルギーにより日中は体をたくさん使って運動することができます。日中、運動をすることで健康的な疲労感を感じ、しっかりと寝ることができます。この繰り返しが、健康な生活には何よりも大切です。特に小さなお子さんにとってはこの習慣が身についているか、いないかは、いろいろな場面で影響がでると言われています。「早寝・早起き・朝ごはん」という健康的な生活習慣は子どもの脳と体の発達にもつながっています。

子どもが日々成長していく中で、脳の発達はとても大切な役割を担います。特に最近子どもの脳の発達に大きな影響を及ぼしていると問題になっているのは、スマートフォンや、ゲームの普及による、睡眠時間の減少です。これは大人も同じことが言えます。特にお子さんにとって、睡眠不足は、心や体の発達に影響し、日中の活動意欲の低下にもつながります。

睡眠時間が不足すると、本来持っている脳のパワーは減少してしまいます。そのことを意識していけるとよいと思います。

一度ついてしまった生活習慣を子どもだけで見直していくことはとても難しいことです。子どもだけではなく、大人も含めて「生活習慣」を見直していくことが大切です。子どもだけではなく「ぐっすり寝て、きちんと食べて、しっかりと遊ぶ」という習慣は、大人になっても、大切な習慣だと思います。大切なお子さんのためにも、自分の健康のためにも、正しい生活習慣を身に付けていきたいですね。

編集後記

巻頭言を吉橋顧問に寄稿していただきました。第二青い鳥学園を長く支えてこられ、三河青い鳥医療療育センターの初代センター長を勤められた吉橋顧問の想いを引き継ぎ、これからも利用児者、地域の障害児者のために努力していきたいと思います。

鈴木俊介くんの聖火リレーが１年越しで実現しました。沿道の応援が制限されたのは残念ですが、三河青い鳥からはみんなで応援させてもらいました。

新型コロナウイルス感染症が早く収束しますように。　（M）

外来診療のご案内

当センターは障がい児(者)の方に特化した建物です。
車いすやストレッチャーで来られた方が安心して受診できる
ようになっていますので、お気軽にいらしてください。

令和３年４月現在

診療科目	曜日	月		火		水		木		金	
	担当医	午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前	午後
整形外科	則竹	予約	再診当日受付	予約(処置等)	予約(処置等)	手術		予約	再診当日受付	予約(処置等)	予約(処置等)
	岩田	予約	再診当日受付		予約(処置等)			予約	再診当日受付(第１週休診)	予約(処置等)	予約(処置等)
	杉浦	予約	再診当日受付		予約(処置等)			予約	再診当日受付(第３週休診)	予約(処置等)	予約(処置等)
	吉橋										予約(第１週)
小児科	越知	再診当日受付	予約	予約	予約	予約	予約	予約	再診当日受付	予約	
	伊藤		予約	予約	予約	予約	予約(第２､４週)	予約	予約		
	中森		予約								予約
	福本										予約(月１)
	牧			予約							
	奥村										予約(第４週)
内科	羽田野				予約						
精神科	水野	予約	予約	予約	予約	予約	予約	予約		予約	予約
小児外科	飯尾							予約	予約		
泌尿器科	石川						予約(第１､３､５)				
耳鼻いんこう科	杉本										予約(第１､３週)
皮膚科	江畑				準備中						
眼科	野々部						準備中				
歯科	大岩	予約	予約	予約	予約	予約	予約	予約	予約	予約	
	山口									予約	予約

※各科初診は完全予約制です。
※都合により臨時休診になる場合もありますので、ご了承ください。
最新の診療体制は、ホームページでご覧いただけます。

休診日：土曜日、日曜日、祝祭日、年末年始(12 月 29 日～翌年１月３日)
診察受付時間：午前８時 30 分～11 時 30 分、午後１時～４時
診察時間：午前９時～、午後１時 30 分～

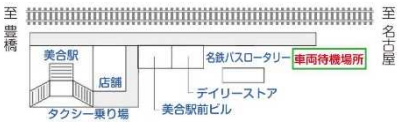
●予約・診察に関するお問い合わせ● **外来直通 0564-64-7982** 予約・問い合わせは外来直通へ。

診察予約は電話での受付です。 ■初診予約受付 月～金 曜日 午前 10 時から午後５時まで

■再診予約受付 火・水・金 曜日 午前 11 時から午後３時まで ※緊急を要する場合はご相談ください。

●送迎のご案内●

リフト付き車両で、車いすは２台まで対応できます。
定員は運転手を含め 10 名です。
送迎区間：(片道所要時間約 20 分)
三河青い鳥医療療育センター ⇔ 美合駅
美合駅 車両待機場所：
名鉄バスロータリー敷地内の駐車場です。
※渋滞等道路状況によりお待ちいただくこともあります。



	三河青い鳥発	美合駅着	美合駅発	三河青い鳥着
１便	8：40	9：00	9：10	9：30
２便	9：35	9：55	10：05	10：25
３便	11：30	11：55	10：05	10：25
４便	12：30	12：50	13：00	13：20
５便	13：30	13：50	14：00	14：20
６便	14：30	14：50	15：00	15：20
７便	15：30	15：50	16：00	16：20
８便	17：00	17：20	17：20	17：40
９便	17：40	18：00	18：00	18：20

※土曜日、日曜日、祝日、年末年始は運休です。

●アクセス●

自動車 東名高速道路 岡崎 IC⇒ 「豊橋方面」へ国道１号線
信号「大平町新寺」左折
信号「岡崎市民病院東」直進⇒

電車・バス 名古屋鉄道 東岡崎駅⇒ 名鉄バス「中央総合公園」下車 徒歩 10 分⇒

愛知県三河青い鳥医療療育センター

社会福祉法人恩賜財団済生会支部愛知県済生会
愛知県三河青い鳥医療療育センター

〒444-0002 愛知県岡崎市高隆寺町小屋場９番地３
TEL 0564-64-7980（代表）FAX 0564-64-7981
http://www.mikawa-aoitori.jp/